

一般社団法人日本鉱物科学会

2022年度 第3回定例理事会 議事録

【1】 招集年月日：2023年8月8日(火)

【2】 開催年月日及び時刻：2023年8月24日(木) 15時00分～17時08分

【3】 開催場所：山口大学理学部 大和田研究室
753-8512 山口市吉田1677-1
(ZOOM Meetingによるオンライン会議)

【4】 理事総数および定数：総数22名，定足数12名

【5】 出席理事数：20名

会長：大和田正明 副会長：井上 徹

理事：阿部なつ江，池田 剛，磯部博志，大藤弘明，鍵 裕之，亀井淳志，川本竜彦，
興野 純，栗林貴弘，黒澤正紀，高澤栄一，辻森 樹，富岡尚敬，永井隆哉，
永嶋真理子，坂野靖行，M.Satish-Kumar，三宅 亮

【6】 欠席理事数：2名 河上哲生，土屋範芳

【7】 出席監事：下林典正

【8】 オブザーバー：(理事以外の幹事，委員長等報告事項報告者)

出席：片山郁夫 行事幹事，瀬戸雄介 Elements幹事，篠田圭司 2023年年会運営委員会委員長，道林克禎 2024年年会運営委員会委員長，西原 遊 JpGU2023プログラム正委員，福士圭介 同副委員，林信太郎 教育普及委員会委員長，大谷栄治名誉会員（西山IMA小委員会委員長・学術会議連携会員代理），瀧川晶 研究発表優秀賞選考委員会委員長

欠席：門馬綱一 新鉱物・命名・分類委員会委員長，西山忠男 IMA小委員会委員長・学術会議連携会員，

【9】 議事概要

大和田理事の発議により議長を理事の互選で選ぶことになり，磯部博志理事が議長に選出された。次に，決議定足数と開始時刻における出席理事数の確認を行い，理事20名の出席を確認したので，定款30条により理事会が成立した。このことを受け，磯部議長はWEB会議システム(ZOOM Meeting)を用いての理事会開会を宣言した。また，WEB会議システムの通信状況(出席者全員の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり，適時的確な意見表明が互いにできる状況)に問題がないことを確認し，2022年度第3回定例理事会を開始した。

会議に先立ち，理事の互選で磯部博志理事が書記として選出された。

I. 報告事項

1. 会長・副会長の職務執行報告（大和田会長，井上副会長）

会長より，学会の状況について簡単な報告があった．個別の業務は各担当者に一任していることから，議事次第に沿って各担当者から報告を行う旨，発言があった．

2. 会員報告（阿部会員幹事・理事）

阿部会員幹事より2022年度第2回定例理事会(2023年5月20日)以降の会員動静について以下の通り報告がなされた．

物故会員1名，退会者17名（シニア会員2名，一般会員9名，学生会員6名）

この結果，2023年8月24日現在の会員数は

802名(2023/5/20定例理事会)-1(物故)-17(退会)=784名 となった．

なお，31名の入会申込みに対し，この後審議を行う．

また，2年間会費未納会員2名について，会員停止予定であることが報告された．（うち1名は，報告前に納付したとのことである）

3. 広報報告（大藤広報幹事・理事）

大藤広報幹事より，広報活動について以下の通り報告がなされた．

1) 会員へのML送信

事務局の宮地さんおよび猪狩さんより，2022年9月の総会以降，現在までに12件の会員宛メールニュースを配信いただいた．内容は，学会関連連絡（学術雑誌の刊行，オンライン会員管理システム運用，HPリニューアル，Elementsオンライン購読への変更，2023年年会情報など）のほか，公募情報，関連学会の催し等の案内など．

2) 学会新ホームページ，公式SNS，Youtubeを通じた広報活動

学会ホームページのリニューアルを行った．新HPはWordPress形式で，今後は広報委員会を中心に更新・運営を対応する（HPのコア部分やサーバー，アカウントの保守管理は株式会社アクセライトと年次契約）．旧ページからほとんどのコンテンツを移行し，英語版ページも整備済み．WordPress形式となり，簡便かつ迅速に更新，情報発信ができるようになり，今後も拡充して行く予定．また，公式SNS（twitter，Facebook）でも情報発信を行い，公式Youtubeチャンネルにも一般・入門者向けや教材用の動画を追加・公開した（現在21本の動画を公開中）．

3) 2023年連合大会で現地ブース出展

JpGU2023において4年振りに現地（幕張メッセ）でブース展示を行った．鉱物標本の展示を行い，クイズラリーにも参加し景品としてヒスイ輝石とスピネルの結晶を提供した．

4) 取材申込みの対応

マスメディア，民間団体などからの問い合わせや取材申込みに対して，適当な会員に対応をお願いするなどの取り次ぎ・調整を行った．（共同通信社など）

4. 渉外報告（永蔭渉外幹事・理事）

特に報告事項なし。

5. 和文誌編集報告（高澤和文誌幹事・理事）

高澤和文誌幹事より、2023年5月20日第2回定例理事会報告以降の状況が議事資料に沿って報告された。

GKK編集委員会（書面会議）において、本文中のカラー文字の使用について審議され追加費用を設定することが承認され、投稿規定に文言が追加されることが報告された。

6. 英文誌編集報告（M. Satish-Kumar英文誌幹事・理事）

M. Satish-Kumar英文誌幹事より、2023年5月20日第2回定例理事会報告以降の編集状況が議事資料に沿って報告された。

7. 庶務報告（磯部庶務幹事・理事）

磯部庶務幹事より、2023年5月20日第2回定例理事会報告以降の状況について以下の報告がなされた。

- 1) 2022年度第2回定例理事会議事録作成、第3回定例理事会(2023/08/24：WEB会議)日程調整、開催準備、WEB会議準備、資料作成
- 2) 2022年度定時総会開催日時、準備、ZOOM設定、総会資料作成、場所、開催方法などの検討と準備、受賞者へ受賞通知、授賞式記念品準備、各委員会開催案内
- 3) 会員へのメールニュース連絡
- 4) 後援、共催、協賛対応
- 5) 令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者推薦依頼、推薦書作成、学会会議からの依頼など対応
- 6) 一般社団法人定時社員総会「招集通知」の電磁的方法（メール）採用への同意お願い
- 7) 事務局委託、現事務局からの引継など

8. 行事・年会報告（片山行事幹事、篠田2023年LOC委員長、道林2024年LOC委員長）

片山行事幹事より、2023年年会へ182件の発表申込みがあり、昨年の年会より8件増であること、ならびに、企業の出展が現地3件、バナーによるものが4件ある旨が報告された。現在オンラインでの登録受付中であり、受付済みの方が発表者の半数程度であるため、追ってリマインドを行う。本年はYMO企画が復活している。加えて、学生と企業との交流企画および一般普及講演が企画されている。

瀬戸2023年LOC副委員長より、LOCとして順調に準備が進んでいる旨報告された。

道林2024年LOC委員長より、2024年年会について、会場を1年前に予約する予定である旨、報告された。

9. Elements報告（大和田会長、瀬戸Elements幹事）

大和田会長より、Elements誌の状況について、電子媒体のみでの配布へ切り換えていく方向である旨報告された。

瀬戸Elements幹事より、Society News原稿は順調であること、JAMS会員の住所変更とオンライン配布への切替手続き、発行スケジュールの回復状況について報告された。本年中には発行の遅れは回復する見通しとのこと。

10. 将来企画委員会報告（井上委員長・副会長）

寄付金の募集が学会ホームページに掲載された。

科研費「研究成果公開促進費—国際情報発信強化B」について、現在申請書類を準備中である。

11. 地惑連合報告（阿部連絡担当委員・理事）

特に報告事項なし。

12. IMA小委員会・学術会議報告（西山IMA小委員会委員長 代理：大谷栄治名誉会員）

議事資料に沿って、学術会議の動向並びにIMA小委員会の組織が再編される旨、報告された。

追加として、IMAのwebサイトが更新されること、役員候補の選考が行われており8月25日のcouncil meetingで検討される旨、報告された。また、2024年及び2026年の会合について報告された。

13. JpGU 2022年学会選出プログラム委員報告（西原委員長）

特に報告事項なし。

14. 新鉱物・命名・分類委員会報告(門馬委員長)

特に報告事項なし。

15. 教育普及委員会報告（林委員長）

中学校教科書の記載について引き続き検討している。関連して、和文の鉱物名について和文誌編集委員会とともに組織的に検討するよう大和田会長から依頼があった。

辻森理事より、産総研が中心となって、地学用語のJIS規格が本年改訂されているので連携が可能ではないかとの発言があった。

16. 博物館委員会報告（坂野委員長）

特に報告事項なし。

17. その他の報告

磯部庶務幹事より、定時総会、2023年度第1回定例理事会への出席依頼があった。

II. 審議事項

第1号議案 新入会承認（阿部幹事・理事）

議事資料の通り、一般会員3名、学生会員28名の入会申請が紹介された。うち、一般会員1名は紹介者がなく、自己紹介文による申込みであったため、自己紹介文を提示した。審議の結果、31名すべて異議なく入会が承認された。この結果、2023年8月24日現在の会員数総数は815名

(内訳一般会員503名、シニア会員168名、学生会員95名、永年会員39名、名誉会員10名)で、

2022年8月24日の定例理事会後より6名の増加となった。

第2号議案 2023年度補正収支予算案の審議（栗林会計幹事・理事）

栗林会計幹事より、議事資料に沿って2023年度収支予算の補正について提案され、資料の一部誤記載について修正の上、異議無く承認された。

来年度はおよそ10万円の支出超過を予定している。財政状況は改善したが、来年度以降、さらに検討する必要がある旨付言があった。

第3号議案 2022年度（一般社団法人第7期）決算及び事業報告の審議

（大和田会長，井上副会長，栗林会計幹事，磯部庶務幹事，下林監事）

議事資料「2022年度総会資料，決算及び事業報告」に基づき，説明，審議を行った。

1. 決算説明：2022年度（第7期）決算について（栗林会計幹事）
2. 事業説明：2022年度（第7期）事業報告について（総会資料）（大和田会長，磯部庶務幹事）
3. 監査報告：（下林監事）
4. 審議：2022年度（第7期）決算及び事業報告（大和田会長）

これら説明，報告に基づき，本議案は異議無く承認された。

第4号議案 定時社員総会招集のための審議（大和田会長・井上副会長）

議事資料に基づき，定時総会の開催日及び場所，目的事項（報告事項，決議事項）について説明され，審議の上，異議無く承認された。

第5号議案 社員総会への「電磁的方法(電子メールなど，FAX)」による代理人による議決権の行使（委任状）と書面による議決権の行使について（磯部庶務幹事・理事）

議事資料に基づき，定款に規定されている，社員総会に出席しない社員による「代理人による議決権の行使(委任状)と書面による議決権の行使」について，電磁的方法(電子メールなど，FAX)」による議決権の行使を認めることとすることが提案され，異議無く承認された。

第6号議案 研究発表優秀賞選考委員会委員の任命および交代について（瀧川委員長，磯部庶務幹事）

議事資料に基づき，瀧川委員長より1期目委員5名の推薦並びに2期目委員のうち1名の交代について提案され，異議無く承認された。

研究発表優秀賞選考委員会

新規1期目5名 秋澤紀克(副委員長:委員長指名)，瀨瀬佑衣，延寿聡美，松本恵，苗村康輔
継続2期目5名 瀧川晶(委員長)，田阪美樹，白勢洋平，伊神洋平，足立達朗（交代委員）

第7号議案 会計幹事，副幹事の交代について（大和田会長）

2023年度において，現会計副幹事の富岡尚敬 理事を会計幹事に，現会計幹事の栗林貴弘

理事を会計副幹事に任命することが提案され、異議なく承認された。

第8号議案 日本鉱物科学会特別功労賞授与について（大和田会長）

大和田会長より、長年にわたり本会運営に多大なる貢献を頂き、本年3月末をもって退職された宮地増美様に対し、日本鉱物科学会特別功労賞を贈呈することが提案された。

審議の結果、日本鉱物科学会運営細則26条1項に規定されている「学会活動への特別な貢献」に対する表彰として、ガイドラインG項に規定されている手続きに沿って、日本鉱物科学会表彰を授与することが修正提案された。

本議案採決時の出席理事18名全員の賛成により、本修正提案は承認された。

その他審議事項

特になし。

会議の最後に、JpGU会期中のYMO活動への支援のため、部屋の利用料等が必要となる場合は学会会計から支出することを検討して欲しい旨発言があった。

【10】閉会

閉会 以上の議事を終え、17時08分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、出席した会長、副会長及び監事がこれに記名押印する。

令和 5年 8月 30日

会 長 大和田 正明 印

副会長 井上 徹 印

監 事 下林 典正 印

(配布時押印省略)